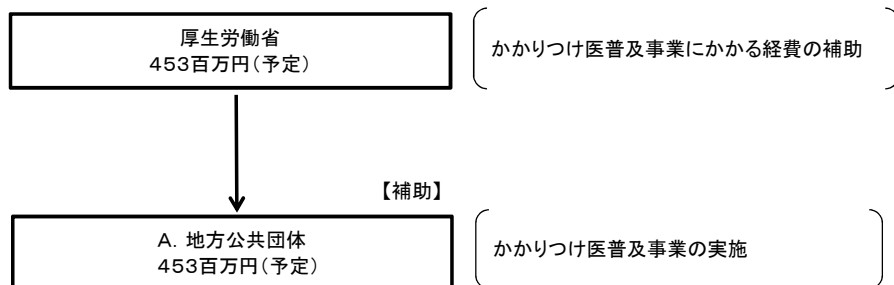


平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	かかりつけ医普及促進試行事業			担当部局庁	医政局			作成責任者	
事業開始年度	平成28年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	医政局地域医療計画課在宅医療推進室			室長：佐々木 昌弘	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—			関係する計画、 通知等	—				
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地域において「かかりつけ医」を持つことの普及を図り、「かかりつけ医」が、健康づくり・予防、病診の連携、在宅医療の推進、看取りの対応等を幅広く担っていくモデルを構築する。これにより、「かかりつけ医」が患者に対して継続的かつ全人的な医療・健康管理を行うことを推進し、外来医療の機能分化と医療資源の有効活用をさらに進める。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	市区町村において、地域特性を踏まえつつ、「予防・健康相談」「病診連携、在宅医療、看取り」「普及啓発、人材育成」の3つの内容を含む「かかりつけ医」の普及定着に資する事業を企画立案し、実施する。								
実施方法	委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位：百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算 の状 況	当初予算	—	—	—	—	453		
		補正予算	—	—	—	—			
		前年度から繰越し	—	—	—	—	—		
		翌年度へ繰越し	—	—	—	—			
		予備費等	—	—	—	—			
		計	0	0	0	0	453		
		執行額	—	—	—				
	執行率(%)	—	—	—					
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 29 年度
	かかりつけ医をもつ国民の 増加	かかりつけ医がいると考 える国民の割合(目標値「前 回調査以上」。割合は3年ご との調査)	成果実績	%	—	—	—		
			目標値	%	—	—	—	53.7	
			達成度	%	—	—	—		
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	モデル事業実施市町村数	活動実績	箇所	—	—	—			
		当初見込み	箇所	—	—	—	—		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位当たりコスト=X / Y		単位当たり コスト	百万円	—	—	—	—	
	X: 執行額 Y: モデル事業実施市町村数		計算式	X / Y	—	—	—	—	
平成27・28年度予算内 訳(単位：百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	衛生関係指導者養成等委託費	—	453	「新しい日本のための優先課題推進枠」453					
	計	0	453						

事業所管部局による点検・改善					
	項 目		評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	かかりつけ医の普及は、社会保障制度改革国民会議や骨太の方針等でもその重要性が指摘された重要課題であり、国費を投入する必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	かかりつけ医の在り方等の制度面の議論に資するための事業でもあり、国が実施する必要がある。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	社会保障・税一体改革大綱の趣旨にそった重要な施策であり、優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-	-	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	-			
	改善の方向性	-			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					